



## すごいで! AI! えっ? イラストまでも?

昨今話題のAI（人工知能）ですが、認知症に関しても大きな威力を発揮することが期待されています。

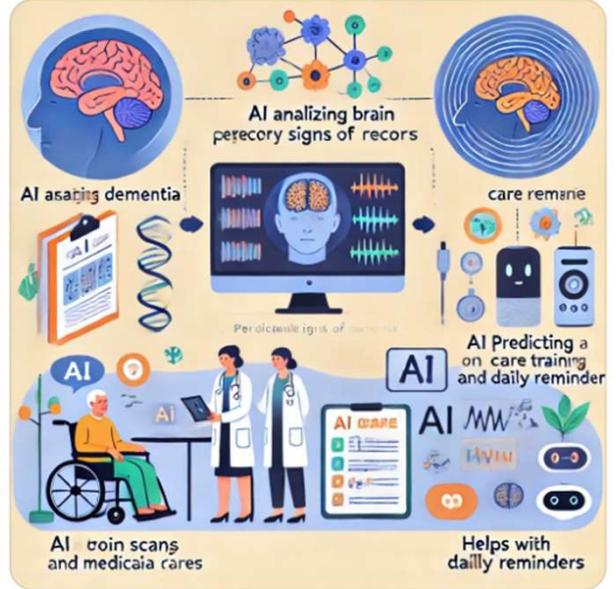
今回は、試しにChatGPTで「認知症におけるAIの活用について、ポイントを3つに絞って教えてください。」とプロンプト（質問）を入力して、次のような回答を得ることができました。

### ■1.早期診断の支援

AIは認知症の早期発見に役立ちます。例えば、脳画像データや患者の医療記録を解析し、初期段階の変化を検知することが可能です。これにより、従来の診断方法よりも早い段階で異常を発見し、治療やケアの開始を促進することが期待されています。

### ■2.症状の進行予測と個別化ケア

AIは患者ごとの症状の進行を予測し、それに基づいて個別化されたケアプランを提案します。例えば、機械学習アルゴリズムを用いて、患者の過去のデータから進行のパターンを学習し、将来的な症状の進行を予測することが可能です。



### AI Predicting dementia proression and daily support



### ■3.認知機能トレーニングや支援ツールの開発

AIを活用したアプリやロボットが、認知機能のトレーニングや日常生活の支援を提供します。これにより、患者が独立して生活する能力を維持・向上させることができます。例えば、音声アシスタントやAIロボットが、薬の服用時間を知らせたり、認知機能を刺激するゲームを提供することで、ケアをサポートします。

AIの活用は、認知症のケアや治療をより効率的かつ個別化するために重要な役割を果たしています。（ここまでAI）

どうですか?・・・簡単な質問をただけで、一瞬にして示唆に富んだ回答を得ることができました。

ちなみに、イラストもAIが作ってくれたものなんですよ！（日本語じゃないのが玉にキズですけどね。）

AIの威力を実感していただけたのではないのでしょうか?・・・こりゃあ、活用するっきゃない!ですね。

## 認サポ、第6回が終了しました!

私達、コラルトの「認サポ」もおかげさまで、6回目を終えることができました。

今回は、いつもお世話になっている新宿区の高齢者支援課の職員様や、終活サポートを行っているプロフェッショナルな皆様などにもご参加頂き、大変良い刺激になりました。

より充実した講座となるよう、今後も工夫を重ねていきたいと思っています。



今日から10月・・・今年は9月の彼岸頃まで気温36度が恒常化していたので、それに比べるとずいぶんと過ごしやすくなりました。折に触れて秋の気配は感じるのですが、まだ少しは夏の装いが続きそうですね。

そしてその後は・・・今年もまた秋を飛び越えて、一気に冬に突入してしまうのでしょうか。最近「四季を愛でる」機会がめっきり少なくなってきているような気がします。

ちょっと信じられないかもしれませんが、長期的なスパンでみると、現在の地球は、約3500万年前に始まった比較的気温が低い氷河期（間氷期）のまっただ中にあるんですよ。

見方によって、解釈が変わるのが面白いですな。（たいこん）

### ★参加無料★「コラルトの認サポ」大好評開催中!

次回開催は2024年10月26日(土) 18:00~19:30です!

※お申込は右のコラルト公式LINEのQRコードから、お気軽にどうぞ!

公式WEBからお申し込み可能。(本新聞のバックナンバーも是非ご覧ください!)



世界アルツハイマーデー記念講演会

2024年10月5日(土) 13:30~15:30

新宿区四谷区民ホール (申し込み不要・先着順)

参加費  
無料

コラルトWEB



公式LINE

